

## 高橋愛 (Ai Takahashi)

この項目は『[リゾナントブルー-Another Versからストーリーを想像するスレ](#)』（以下、リゾスレ）に発表された小説の登場人物、高橋愛に関する事実を記述していきます。

モーニング娘。5期メンバー高橋愛さんについての情報をお求めの方は、適切なサイトをお探しになることを推奨します。（但し、実在のアーティストの楽曲のPVから想像した作品を投稿していくリゾスレの性質上、実在する高橋愛さんに関する事実の記述が一部に存在する事を、ご了承ください）

また、一つのPVから各人が自由に想像を膨らませるというスレの特性上、ストーリー中の設定は作者・作品ごと千差万別になっています。それ故、当項目で述べる内容は、一部作品世界のみの設定等特殊なものを除いた上での「最大公約数」的なものであることを予めご了承ください。

---

## 目次

- [1.概要・人物像](#)
  - [2.他の登場人物との関係](#)
  - [3.能力](#)
  - [4.高橋愛が登場する作品](#)
- 

### 1.概要・人物像

多くの作品において、[リゾナター](#)のリーダーを務めているという設定であり、それと同時に[喫茶リゾナント](#)のマスターであるという設定もほぼ基本となっている。

[まとめサイト](#)に収録された作品における初登場は[BGMの人](#)の手による [\[ Sayu-Eri \] \(01\)203 『傷と癒し』](#) であるが、現在の基本設定の土台となったのは同作者の作品 [\[ Mitsui \] \(01\)282 『予知能力者』](#) における人物像であると言えるかもしれない。

また、それ以前の設定談議や雑談の中でもしばしば登場していた。一番最初の設定に関わるレスは、リゾスレが発生する元となった「リゾナントブルーを1位にするスレ」において為された“隊長の高橋は普段はジムで筋トレするOL”というものであり、その後はリゾナターのメンバーを集めるスカウト担当的な色合いを強めていった。戦隊モノ的性格が強い頃の設定ではあったが、高橋愛を中心にメンバーが集うという展開は、その後の多くの作品において様々な形で用いられている。

明確に過去が描かれたのは、2話目に入ってすぐに上げられた[刃千吏の人](#)の [\[ Takahashi \] \(02\)34 『the Resonanter i914』](#) ([作品wikiはこちら](#))が初めてだった。同作品内で為された哀しい過去のエピソード中に登場する“作り出された能力者 i914”という衝撃的な設定は、多くの住人の支持を得て、その後も完全に基本設定の一つとして定着した。尚、同作品中や同作者の後続の作品にも登場する高橋愛の母親・[祖母](#)も、世界観を越えて一部で使用される設定となっている。（ただし各作者ごとに、その設定は異なっていると思われる）

人となりについては当然各作者・作品ごとに様々であるが、現実世界の高橋愛同様に、リーダーゆえの責任感や強さ、包容力を備えているものが多いとは言えるかもしれない。同時に、それでいてどこか危なっかしい一面を持っていることも。

---

### 2.他の登場人物との関係

[リゾナター](#)サイドでは、(現実世界で)同期メンバーであり関係性の深い[新垣里沙](#)、同居人という設定上[田中れいな](#)との関係を描いた作品が圧倒的に多いと言える。その他のメンバーに関しては意外と1対1の関わりを描いた作品は少ないが、それでも満遍なく網羅している。

[ダークネス](#)サイドでは、[後藤真希](#)との関わりを描いているものが一番多いと言えるだろうか。同期メンバーである[紺野あさ美](#)、[小川麻琴](#)との関わりも多い。他に[吉澤ひとみ](#)や[藤本美貴](#)との関わりを描いた作品が複数存在している。その他のメンバーに関しては、直接的な関わりはそれほどない。

#### [4.高橋愛が登場する作品](#)参照。

---

### 3.能力

主として以下の能力が設定されている。

#### 精神感応(リーディング)

対象者の思考を読み取ることが出来る能力。[精神感応](#)の項参照。  
作者・作品ごとに能力の性質に差異が見られる。

#### 瞬間移動(テレポーテーション)

瞬時に離れた場所に移動できる能力。[瞬間移動](#)の項参照。  
作者・作品ごとに能力の性質に差異が見られる。

#### 光使い(フォトン・マニピュレート)

初出は [\[ Ai-Gaki \] \(03\)750 『光放つ、原罪』](#) においてであり、同作品内では「光を操り、すべてを光に返す、至高の能力」と語られているが、後続の作品の中では「光の矢(球)を放つ」といった意味合いの能力として使用されることも多くなった。

---

### 4.高橋愛が登場する作品

- ・ 紹介するのは一部ですのでご了承ください ( 左下の[+]をクリックすると本文が開きます )

...